

主管課	生活安全課	一般会計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	16	市民相談費

事業の主な内容及び成果

【市民相談事業】

担当職員が年間を通して行う市民相談のほか、行政相談委員3人による行政相談(25回)、人権擁護委員7人による人権相談(24回)、駿河台大学教授による無料法律相談(5回)を実施した。

- 市民相談：162件
- 行政相談：12件
- 人権相談：8件
- 駿河台大学教授による無料法律相談：29件

【消費生活対策事業】

○消費生活相談状況
 ・消費生活相談の内容は多岐にわたっており、複雑化しているため、よりの確かつ迅速に処理した。

○相談体制の整備

＜消費者行政活性化補助金の活用＞

- ・相談窓口の開設を週5日とし、相談体制を充実させた。
- ・消費生活相談員を1名増員し、水曜日と金曜日を2人体制とした。

苦情	問合せ	要望	合計
件	件	件	件
455	83	0	538

○消費者啓発

＜消費生活教室の開催＞

・消費者被害を未然に防止し、消費者トラブルの事例やその対処法についての認識を深めるため、消費生活教室を実施した。(実施回数6回 参加者数133人)

講座名	開催場所	参加人数
悪質商法に遭わないために	たいら栗園	26人
私はだまされない～消費者トラブルに巻き込まれないために！～	飯能中央地区行政センター	5
高齢者の被害防止のために	飯能中央地区行政センター	21
泣き寝入りはしないー悪質商法の手口と対処法ー	双柳地区行政センター	61
泣き寝入りはしないー悪質商法の手口と対処法ー	飯能中央地区行政センター	7
消費者被害について	富士見地区行政センター	13

事業の主な内容及び成果

〈消費者行政活性化補助金の活用〉

- ・消費者教育の強化を図り、消費者被害の未然防止につなげるため、小・中学生向けの冊子を作成し各学校へ配布した。

○消費者団体への補助金の交付

- ・「飯能市くらしの会」、「飯能市消費者団体連絡会」に補助金を交付した。

主な事業内容

「飯能市くらしの会」： 視察研修、勉強会、講演会参加

「飯能市消費者団体連絡会」： 学習会、映画会、会報発行、講演会参加

主管課	生活安全課	一般会計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	19	交通安全対策費

事業の主な内容及び成果

【交通安全施設整備事業】

ゾーン30(新町地内)の指定による路面標示工事を行ったほか、道路反射鏡11基、防護柵21.5m、注意看板31枚を設置した。
また、既設の交通安全施設の修繕や道路照明3基をLEDへ付け替えるなど、市内の交通安全施設の充実に努めた。

区分	事業内容	事業費
工事請負費	路面標示工事ほか5件	9,558,000 円
修繕料(施設)	道路照明灯球切れ、道路反射鏡面交換等	5,044,140

【自転車等放置防止対策事業】

駅周辺の放置自転車の指導や整理を関係機関及び関係団体の協力を得て行った。
放置禁止区域等からの放置自転車等を302台撤去した。

【交通安全啓発事業】

○街頭指導

交通安全指導員が、児童の登・下校の指導を行ったほか、歩行者(特に子どもと高齢者)の保護及び誘導並びに自転車利用者の交通指導を行った。

○交通安全運動

関係団体及び関係機関の協力を得て、春、夏、秋、冬に交通安全運動を実施し、運動期間中の統一行動日には街頭キャンペーンを行い、ドライバーに安全運転を呼び掛けた。

○交通安全教育

保育所、幼稚園等の幼児、小学校の児童に模擬信号機等を利用した正しい歩き方、正しい自転車の乗り方等の安全教育を実施し、高齢者に講話と映画を主とした安全教育を実施して、正しい交通ルールを周知した。外国人を対象とした自転車の乗り方教室を実施した。

また、高齢者を対象とした安全運転競技会や市民を対象とした自動二輪車・原動機付自転車の安全運転講習会を開催した。

対象者	事業内容	回数	参加人数
		回	人
保育所・幼稚園等・小学生1.2年生	正しい歩き方	33	2,392
小学生3~6年生	自転車の乗り方、点検の仕方	21	1,637
高齢者	交通安全講話、交通安全映画	12	371

事業の主な内容及び成果

【公共交通対策事業】

○地域公共交通施策の推進

飯能市地域公共交通基本計画に基づき、交通施策の推進を図った。

○飯能市地域公共交通対策協議会(法定協議会)の開催

各々の地域における公共交通に関する諸課題の解決及び「飯能市地域公共交通網形成計画」の策定を目的として、飯能市地域公共交通対策協議会を4回開催し、それに伴い分科会を4回開催した。

○「飯能市地域公共交通網形成計画」(H30-H34)を策定

各地区の市民へのアンケート調査等に基づき、「飯能市地域公共交通網形成計画」を策定した。

○飯能市バスルートマップの増版、配布

市民が路線バスを利用しやすいよう国際興業バス・西武バス・イーグルバスの3社共通の「飯能市バスルートマップ」を2000部増刷し、配布した。

○市内交通事業者と連携を図り、路線バスの利用促進を図った。

○ノーマイカーデーの実施(2回)

マイカーに依存するライフスタイルを見直し、公共交通を維持・確保することを目的として、「ノーマイカーデー」を実施した。「飯能新緑ツーデーマーチ」の開催に合わせた職員向けのもの(5/18、115人参加)と、全市的なもの(12/8～12/17、356人参加)の計2回実施し、延べ471人の参加があった。

○出前講座の開催(6回)

各地区の団体等からの要請により、出前講座「公共交通について」を6回開催し、延べ124人が参加した。各地域で公共交通に対する理解を深めてもらうと共に、地域住民との意見交換を行うことで公共交通に対するニーズの把握につなげた。

No.	開催日	要請のあった団体名	会場	参加人数
1	5月16日(火)	持ち寄りサロン	総合福祉センター	27人
2	6月27日(火)	ちよとずつの会	原市場福祉センター	7人
3	8月6日(日)	公明党飯能支部精明地区	精明地区行政センター	27人
4	8月28日(月)	出前講座で学ぶ会	飯能中央地区行政センター	13人
5	10月13日(金)	くらしの会	飯能市役所別館	11人
6	11月26日(日)	吾野の移動手段を考える実行委員会	吾野地区行政センター	39人
合 計				124人

【バス路線確保対策事業】

地域住民から要望されている乗合バス路線を維持確保するため、湯の沢線、間野黒指線、中藤・中沢線、名栗車庫線について、路線ごとの収支に基づき、バス事業者に対して補助金を交付した。

【交通関連団体支援事業】

- ・八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会、JR川越線整備促進協議会、八高線電車化促進期成同盟会に参画し、東日本旅客鉄道株式会社に整備促進等の要望を行った。
- ・交通安全運動を推進する飯能地方交通安全協会、飯能市交通安全母の会に対し、補助金を交付した。

主管課	生活安全課	一般会計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	21	諸費

事業の主な内容及び成果

【地域安全推進事業】

○防犯パトロール用品の貸与

- ・帽子・ベスト・ジャンパー等を購入、各自治会やPTA等へ貸与し、防犯活動の支援に努めた。
(合計88団体に貸与)

○防犯灯の設置・撤去等

- ・防犯灯17灯(LED)を新規設置し、移設10灯、ポール柱建替え2灯、撤去2灯の工事を実施した。

○防犯啓発活動

- ・職員による青色回転灯装着車での防犯パトロールを実施した。(42回、延べ78人参加)
- ・飯能警察署、自治会等と協力し、飯能駅前周辺で防犯キャンペーンを実施した。(6回)
- ・市メール配信サービスや市ホームページで市内の犯罪情報を発信した。

○防犯教育活動

- ・飯能警察署、埼玉県警等と協力し、防犯出前講座を実施した。(54回、延べ1,589人参加)

○防犯灯のLED化

- ・市内全ての防犯灯をLED化するため、市内全域の防犯灯調査を実施した。